



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	出井 清	幹事	伊藤 和夫	雑誌会報委員長	小林 透
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)				

2011年8月第1週号

第2323回



平成23年8月5日(金) 点鐘12:30(曇り)

- ◆国歌斉唱 『君が代』
- ◆ロータリーソング 『奉仕の理想』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介
なし

■ 会長挨拶及び報告 出井 清会長

◆理事・役員会報告

1. 入会候補者の件、栗原氏承認される。
2. 創立50周年記念準備委員会から実行委員会へと名称を変更の件、承認される。
3. 9/14(水)ロータリー情報研究会開催について
9月16日(金)の例会を変更して全員登録。
4. 11/6(日)地区大会について
11月4日(金)の例会を変更して全員登録。
5. 7/29 納涼懇親夜例会会計報告、承認される。

◆7/2、「都川の環境を考える会」のイベントに北原会員、竹尾会員、金親会員、向後会員と私が参加してきました。川に水中カメラを入れてモニターで川の中が見られるようになっているのですが、アユが泳いでいてビックリしました。これもNPO法人の方々の努力の賜と思います。50周年記念事業の一環として共同事業をやりたいと思っておりますので、是非、イベント等に出席して頂き、理解を深めて頂ければと思います。

■ 委員会報告

親睦活動委員会より (竹尾白委員長)

◀ 炉辺会開催のご案内 ▶

日時⇒ 平成23年9月14日(水)6時より

場所⇒ オークラ千葉ホテル

出席委員会より (代・伊藤和夫幹事)

2010-2011 年度下期分皆出席賞記念品贈呈(19名)

会員増強委員会より (塩谷邦昭委員長)

本年度は、どういう形でクラブを運営したら良いのだろうかということですが、先ずその前に会員を増やさなければ、会の運営が出来ません。配布しました資料を見て頂くとお分かりかと思いますが、このままだと更なる危機感が出てくると思います。当クラブの退会率は、地区内でも上のほうです。減少しても補充が出来ておりません。知人、友人、取引先関係等を当たっていただき、是非、会員増強にご協力いただきたいと思います。

■ 幹事報告 伊藤 和夫幹事

- ・次週、12日は定款により休会です。19日はガバナー公式訪問ですので、欠席のないよう宜しくお願い致します。
- ・活動計画書が出来上がりました。榊原会員有難うございました。
- ・7/31の「国際里山の集い」には、総勢51名の方に参加していただきました。途中で雨が降ったりしましたが、雨にもめげず、草刈りをしました。そのあとの懇親会も財団・米山奨学生や柏・船橋・市原のローターアクトの方が参加してくれて成功裡に終えることが出来ました。金親会員、有難うございました。

■ 8月度会員誕生日祝・結婚記念日祝

誕生日祝い
28日 小林 透会員

結婚記念日祝い
20日 寺澤 一良会員

■ ニコニコボックス報告

◇榊原 行夫会員

お陰さまで活動計画書が出来上がりましたので、有難うございました。

本日のニコニコボックス	1,000 円	累計	222,000 円
金の箱	420 円	累計	3,019 円

■ 出席報告 (会員数36名)

出席者数28	欠席者数 8	ビジター 0	修正出席率82. 86%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	8/29	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	8/23・30	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	8/30	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	8/31	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	—	京成ホテルミラマーレ

…本日の卓話…

演 題…『自己紹介』 卓話者… 江幡 清子会員

7月から千葉南ロータリークラブのお仲間に入れていただいて毎週の例会を始め、いろいろな行事に出席させていただき中、皆さんに暖かく接していただき本当に有り難い。あっという間に一ヶ月が経って、今日は「自己紹介」という形でお話しさせていただきます。



生まれは香取郡多古町で、現在62歳。千葉県庁を定年退職したのち、1年半の再任用期間を経て、平成22年9月30日に千葉県を退職。思うところあって、平成23年4月10日の統一地方選挙の千葉県議会議員選挙に千葉市中央区から無所属で立候補したが、当然の結果のように落選した。何の後ろ盾のないまま、無謀にも、大胆にも、ほとんど準備期間を経ず出馬したという、「普通はしない者の体験談」と、今の心境をお話しさせていただきます。

今、ロータリークラブの会員という立場をいただいているが、県議会議員に立候補してみようと思わなかったら絶対に出会うことのない世界だったので、「勇気を持って行動を起こす、チャレンジするという事は、新たな世界に入れることだ」と改めて思っている。当選はできなかったが、選挙というものを経験してみて本当に良かったと、今は思っている。選挙期間中は、とてもこんな心境ではなく「女性が選挙に出て落選するなんて、こんなみっともないことはない」とすら思っていた。

「では、どうして立候補したの？」と思われるかもしれないが、今の政治を見ながら、「政治家の悪口を言うんだったら、政治家についてあれこれ言うんだったら、勇気をもって形に見える行動を起こさなければ」と「出なければいけない！」みたいな気になって、するすると実行してしまった。「選挙に出るとはすごい」と言ってくださる方もい

るが、私の場合は定年退職してからだったので、政治家になろうと中途退職したのだったら凄いことかも知れないが、勇気も中くらいかなと思っている。

現在92歳の父親も、また87歳になる母親も私の立候補に全く反対しなかったことが、立候補を思いとどまらなかった大きな理由となっているが、恥ずかしい気持ちもあつたので、反対しそうな人には話さず、気楽に言える人から瀬踏みしていった。無所属で立候補したので自分だけで選挙を始めることになり、平成22年の12月初めに「“20代、コネなしが、市議会議員になる方法”と“28歳で政治家になる方法(90日当選スケジュール付き)”という本を買って、選挙の流れをつかんでいった。

12月末に偶然出会って、印刷物・ホームページ、グッズ類等をお願いすることにした方に、ボランティア精神を發揮しながらプランナーもやっていただくことにした。

自宅を選挙事務所にして、個人的な友人たちの手弁当による手伝いと、就職浪人の甥っ子を狩り出しての体制だけだったが、途中でやめたいとは思わなかった。短い運動期間であったにもかかわらず、供託金を没収されずに済んだのは、応援してくださった皆さんのお蔭と、心から感謝している。

選挙は啓蒙活動でもあるので、当選は出来なかったが、「最後までやってのけた」という達成感は、「私は行動を起こした」という意味で、自分に自信が持てるようになった。有名人でもない者が「無所属で出る」ということが、公職選挙法上いかに難しいかということも、実際に選挙をやりながら知ることが出来た。顔と名前を覚えてもらう手立てがないかといろいろ考えた結果、「ロゴを作り、それと連動して私を憶えてもらう」という策を講じた。使うことにしたロゴの、「まん中に、愛。輝け、千葉！」は、「どんなに良い制度や法律・条例を作っても、それを実践するのは1人ひとりの人間である。人としての愛の心、人に対する優しさ、親切、思いやりがなければ何にもならない」というのが日頃の私の考えだったので、とつても気に入っている。選挙に出ることによってこのロゴが生まれ、落選したことによりこれだけが残ったが、実は、「このロゴに込めた私の思いを、何かの形で広げられないか」と、今また本気で考えている。

なかなか「愛」という言葉は、口にするのは口幅ったく、また気恥ずかしいものだが、千葉をアルファベットで表すと「CHIBA」でまん中に愛がある。自分のことを棚に上げなければ言えない「愛」が、無理しなくても最初からまん中に入っている。「それが千葉なんだよ。まん中に愛があるのが千葉なんだよ。そうなんだよ千葉。輝け！」みたいな気になって、友人たちからも評判が良い。

私は生まれも育ちも千葉県だが、他県から来た友達などからは「千葉県は何の特徴も個性も無く、何にもないところ。観光地とばかりにくいところ」と言われたりする。「東京に近いからと千葉県に住んでいて、よく千葉県の悪口を言うな」と思っているが、私自身、具体的な思いとして、「これが千葉県のお土産と言えものが無い。千葉からのお土産としてはピーナッツぐらいしか思い浮かばない。」ということについては、長年、気になっていた。「もみじ饅頭」のような、「白い恋人たち」のような、それだけ

で「行ってきたのね」とか「千葉のお土産ね」と言われるようなもので、それでいておしゃれなお土産があったらいいなと思っている。千葉県には、いろいろな県産品があるが、材料はなんでもあれ、同じような美味しいものが全国にはたくさん出回っている。

美味しいことは当たり前の当然のこととして、特徴として「まん中に、愛。」をイメージしたものを作って、「喜んで買っただけのものを作って、千葉を輝かせられないか」と思い始めている。味だけの「ハード」ではなく、思いの「ソフト」で千葉を輝かせられないかと思っている。

ロータリークラブは、シカゴのポール・ハリスという方の、たった一人の思い付きでこんなに世界中に広がったことを、会員となって知ることが出来た。

常日頃考えていることを口にするのは大事なことだと、そんな思いから今日のお話をさせていただいた。今は時代の大きな変革期であり、3月11日の東日本大震災が起きてからは、日本は復興というより、新たな国づくりに入っていると思っている。

そんな時代に生き、また少子高齢化のなかにおいて、経験を積んだ高齢者の一人として、お役に立つため日々努力しながら、毎日を誠実に丁寧に生きていきたいと思っている。

私のつたない話を最後までご清聴いただき、本当にありがとうございました。 (文責 向後 保雄)



第2324回例会

日時⇒ 平成23年8月19日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『ガバナーご挨拶』

卓話者⇒ 国際ロータリー第2790地区
ガバナー 山田 修平様

第2325回例会

日時⇒ 平成23年8月26日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『未来を見据えた千葉市のまちづくり』

卓話者⇒ 千葉市長 熊谷 俊人様



「第9回国際里山の集い」

日時⇒7月31日(日)09:30～

場所⇒若葉区谷当町

